

大雨や台風の時って・・・

いつ避難すればいいの？

令和3年5月20日から避難行動のガイドラインが変わりました。

警戒レベル3で避難開始！

避難に時間を要する方(高齢者、障害のある方や乳幼児、その支援者)はレベル3で避難しましょう！

警戒レベル4までに危険な場所から全員避難！

自主的な判断で避難指示の前に行動することも重要です

主に市町村が出す 避難情報(警戒レベル)

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報
5 ※1	災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~~			
<b>4</b>	災害の おそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示
<b>3</b>	災害の おそれあり	危険な場所から 高齢者等※2は避難	高齢者等避難
<b>2</b>	気象状況 悪化	自らの避難行動を確認する	洪水、大雨、高潮 注意報(気象庁)
<b>1</b>	今後気象状況 悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報 (気象庁)

### 国や都道府県が出す防災気象情報 河川水位や雨の情報

浸水の情報 (河川)	土砂災害の情報 (雨)
警戒レベル5相当	
氾濫発生情報	大雨特別警報
警戒レベル4相当	
氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
警戒レベル3相当	
氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
警戒レベル2相当	
氾濫注意情報	—
—	—

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令されるものではありません。

※2 警戒レベル3は、高齢者以外の人(障害のある方や乳幼児、その支援者など)も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり危険を感じたら自主的に避難するタイミングです

出典:内閣府HP

異常な兆候を感じたら自主的に早めの避難をしましょう。

平時にハザードマップを確認してご自身や家族の避難が必要かを確認しましょう。

避難スイッチ(避難を行動に移すきっかけになるもの、タイミング)を決めておきましょう。

# 台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平時に確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、自宅の災害リスクととるべき行動を確認しましょう。

## 避難行動判定フロー

あなたが取るべき避難行動は？

必ず取り組みましょう

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

※ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※立退き避難(自宅の外に避難)が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、  
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまう  
おそれの高い区域の外側である  
②浸水する深さよりも高いところにいる  
③浸水しても水が引くまで我慢できる、  
水・食糧などの備えが十分である  
場合は屋内安全確保(自宅に留まり安全確保すること)も可能です。

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間がかかりますか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル3 高齢者等避難がでたら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル3 高齢者等避難がでたら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

警戒レベル4 避難指示がでたら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう(日頃から相談しておきましょう)

いいえ

警戒レベル4 避難指示がでたら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

出典:内閣府HP

日新火災海上保険株式会社

本社/〒101-8329  
東京都千代田区神田駿河台2-3 TEL03(3292)8000(大代表)

代理店・営業店